



35:1 神はヤコブに仰せられた。「立って、ベテルに上り、そこに住みなさい。そしてそこに、あなたが兄エサウから逃れたとき、あなたに現れた神のために祭壇を築きなさい。」

35:2 それで、ヤコブは自分の家族と、自分と一緒にいるすべての者に言った。「あなたがたの中にある異国の神々を取り除き、身をきよめ、衣を着替えなさい。」

35:3 私たちは立って、ベテルに上って行こう。私はそこに、苦難の日に私に答え、私が歩んだ道とともにいてくださった神に、祭壇を築こう。」

35:4 彼らは、手にしていたすべての異国の神々と、耳につけていた耳輪をヤコブに渡した。ヤコブはそれらを、シェケムの近くにある榎の木の下に埋めた。

35:5 彼らが旅立つと、神からの恐怖が周りの町々に下ったので、だれもヤコブの息子たちの後を追わなかった。

35:6 ヤコブは、カナンの地にあるルズ、すなわちベテルに来了。彼とともにいた人たちもみな一緒であった。

35:7 彼はそこに祭壇を築き、その場所をエル・ベテルと呼んだ。それは、彼が兄から逃れたとき、神がそこで彼に現れたからである。

35:8 リベカの乳母デボラが死に、ベテルの下手にある榎の木の下に葬られた。それで、その木の名はアロン・パクテと呼ばれた。

35:9 ヤコブがパダン・アラムから帰って来たとき、神は再び彼に現れ、彼を祝福された。

35:10 神は彼に仰せられた。「あなたの名はヤコブである。しかし、あなたの名は、もう

ヤコブとは呼ばれない。イスラエルが、あなたの名となるからだ。」こうして神は彼の名をイスラエルと呼ばれた。

35:11 神はまた、彼に仰せられた。「わたしは全能の神である。生めよ。増えよ。一つの国民が、国民の群れが、あなたから出る。王たちがあなたの腰から生まれ出る。」

35:12 わたしは、アブラハムとイサクに与えた地を、あなたに与える。あなたの後の子孫にも、その地を与えよう。」

35:13 神は彼に語ったその場所で、彼を離れて上って行かれた。

35:14 ヤコブは、神が自分に語られた場所に、柱を、石の柱を立て、その上に注ぎのぶどう酒を注ぎ、さらにその上に油を注いだ。

35:15 ヤコブは、神が自分と語られたその場所をベテルと名づけた。

「住みなさい」とありますが、長めの滞在と考えた方がよいでしょう。その目的は「祭壇を築く」礼拝にあります。また礼拝が終わるとすぐにイサクのいるヘブロンに帰還しました。

ヤコブの従いの中途半端によって招いたのは娘の悲劇、息子たちの残虐な復讐、また父子の論争でした。しかし、ここでも神様がヤコブに語られます。きっとここに来てヤコブは自分の間違いや無力に気づいて祈ったのでしょうか。それはヤコブの渡しでの神体験の賜物だと思われます。

神様は問題自体の解決よりも、もっと根本的なところを主題になさいます。すなわち神様の大きなご計画と、そのためのヤコブの召しと使命、それゆえの祝福です。ヤコブはそれを知っていましたし、そのように導かれて来たはずでしたが、その信仰が停滞していたのです。それで優先順位と価値観がいまいになり、さらに一族の者たちにまで影響していたようでした。神様はそこをご覧になっていたのです。

ヤコブは主に従いました。もはや敵対する者たちも手出しすることはできませんでした。主の御心を選び取る者への守りのみわざです。そしてまた約束が更新されました。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

